

平成 26 ( 2014 ) 年度 教員活動報告書 ( 1/12 )

|           |  |             |      |      |       |
|-----------|--|-------------|------|------|-------|
| 学部・学科     | 総合社会学部・総合社会学科  | 職名          | 教授   | 氏名   | 馬場 雄司 |
| 学歴        | 昭和55年 3月 名古屋大学文学部史学科卒業<br>昭和57年 3月 名古屋大学大学院文学研究科(博士前期課程)史学地理学専攻修了(文学修士)<br>昭和60年 3月 名古屋大学大学院文学研究科(博士後期課程)史学地理学専攻単位取得満期退学<br>昭和61年 2月 中国雲南民族学院短期留学(昭和61年3月まで)<br>平成 2年 3月 文部省アジア諸国等派遣留学生としてタイ国チェンマイ大学社会科学部に留学「平3.3まで」   |             |      |      |       |
| 学位        | 昭和57年 3月 文学修士(名古屋大学)   |             |      |      |       |
| 専門分野      | 文化人類学  |             |      |      |       |
| 専門資格      | 学芸員(任用資格)<br>中学校社会科1級教員免許<br>高等学校社会科1級教員免許   |             |      |      |       |
| 所属学会      | 昭和56年 6月 東南アジア史学会(現・東南アジア学会)<br>昭和58年 6月 日本音楽学会<br>昭和60年 3月 日本民族学会(現・文化人類学会)<br>昭和62年 2月 民族芸術学会<br>平成 4年 6月 パーリ学仏教文化学会<br>平成11年 4月 日本公衆衛生学会<br>平成11年 4月 日本タイ学会<br>平成13年 5月 日本笑い学会<br>平成17年 5月 医療行動科学会<br>平成26年 5月 観光学術学会   |             |      |      |       |
| 受賞        | なし   |             |      |      |       |
| 担当授業科目    | 学部<br>初年次演習、総合社会学演習、実践人類学実習A・B、文化人類学演習I・、卒業研究演習・、東南アジア地域研究、福祉と地域デザイン、プロジェクト科目、博物館実習  |             |      |      |       |
| 論文指導      | 論文指導担当[主査](卒論：6名)  |             |      |      |       |
| FD活動・教育実績 | 科目名  | 科目カテゴリー     | 実施学期 | 履修者数 |       |
|           | 実践人類学実習A・B   | 講義・演習・実習・実験 | 春・秋  | 7名   |       |
|           | 授業の概要：宇治地域でサウンドマップづくりをおこない、大分の古民家<br>教育活動の振り返り<br>教育活動の成果：<br>宇治地域の音環境の調査により、音と環境・生活との関わりについて認識を深め、古民家での自然の生活の中で竹という自然素材を生かした楽器などのモノづくりを通じて、自然と生活さらには健康とのかかわりについて体験的に認識を深めた。また、自作の竹楽器を用いて、地域イベントでのこどもとの交流、施設での高齢者との交流を通じて、音が人をむすびつける力を体験させた。<br>今後の課題：<br>この科目は今年度が最終年度になる。今後、どのような形でこの内容の教育を続けるか、現在検討中である。学生が更に自ら企画を行えるような方向付けも必要である。 |             |      |      |       |

平成 26 (2014) 年度 教員活動報告書 (2/12)

|   | 科目名<br>総合社会演習  | 科目カテゴリー<br>講義・演習・実習・実験 | 実施学期<br>春・秋 | 履修者数<br>6名 |
|---|--|------------------------|-------------|------------|
| F<br>D<br>活<br>動<br>・<br>教<br>育<br>実<br>績                                     | 授業の概要：臨床心理学部吉村ゼミと共同で、障がいや病をもつ人ともたない人が一つの場で脱力系まちカレッジを企画運営し、車椅子利用者の方と向島地域のバリアフリーマップを作成する。  |                        |             |            |
|   | 教育活動の振り返り<br>教育活動の成果：<br>2 障がいをもつ人や病いとともに生きる人が特別な存在ではないということ、共に活動することを通じて理解を深めた。とりわけ障がい者とともに学生自ら車いすでバリアを調査することで、障がい者目線で地域のバリアを発見し、それが全ての人にとって困難をもたらす場所であることを理解した。また、ここに障がいをもつ人の視点が地域づくりに役立つことを理解した。この活動はバリアフリーマップを作成し、地域住民にも提示した。<br>今後の課題：<br>向島地区で更にバリアフリーマップを作成することや、様々な障がい者の視点をもとに、全ての人にとって住みやすい地域づくりを考える。   |                        |             |            |
|   | ・学内外のFD関連講演会/セミナー等への参加実績<br>以下の学内FD研修会に参加<br>平成26年10月 第1回FD講演会「京都文教大学の初年次教育を考える ジェネリック・スキルを育てるための科目間連携」<br>平成27年 3月 第2回FD研修会「授業と評価をつなぐ為に ルーブリック評価入門」   |                        |             |            |
|   | ・教育効果が高い、あるいは教育の一環として行われている課外活動等<br>・京都府宇治市、京都市伏見区の老人施設などにおいて「ちんどんセラピー」の実践を行い、ボランティアに学生有志3～4名と参加。(人間学研究所共同研究プロジェクト「地域と結び癒しの技」と連携)<br>・2年生ゼミの有志と吉村ゼミとともに学内視覚障害者用バリアフリー点検を行う。<br>・学生有志3名とともにタイ研修を行い、サテライトキャンパスにて写真展を開催   |                        |             |            |
| H26 年度<br>研究課題  | 1. メコン川中流域における開発と社会・文化変化<br>2. 音楽の社会における役割<br>3. 地域(まち)づくりの中から考える福祉  |                        |             |            |
| 平成<br>二<br>十<br>六<br>(2014)<br>年<br>度<br>の<br>研<br>究<br>活<br>動<br>の<br>概<br>要 | (1) メコン中流域における開発と社会・文化の変化の研究。北部タイ・ナーン県のタイ・ルーを中心とするメコン中流域の研究のまとめを進めた。「地域・福祉・歴史 北タイ・タイ・ルーの守護霊儀礼」というタイトルで博士論文としてまとめ、単著出版を予定。<br>(2) 科学研究費助成事業 基盤研究(B) 海外学術調査「高齢者ケアの質保証を推進する国際比較研究」 後述：(学外研究資金による研究活動・科学研究費補助金等含) のメンバーとして、タイに出張、スウェーデン・日本・タイの国際比較における質的調査に関してデータ収集を継続するとともに、タイ人研究者との共同研究をすすめた。<br>(3) 科学研究費助成事業 基盤研究(A)「東南アジアにおけるケアの社会基盤 つながりに基づく実践の動態に関する研究」 後述：(学外研究資金による研究活動・科学研究費補助金等含) のメンバーとして、タイに出張、北部タイにおける社会的ネットワークとケアおよびケア力をもつコミュニティ創造のための僧侶の活動などに関するデータをフィールド調査をもとに収集し、国際タイ学会(シドニー大)、科研研究会(熊本)で報告した。<br>(4) 国立民族学博物館共同研究「東南アジアのポピュラーカルチャー アイデンティティ、国家、グローバル化」 後述：(学外研究資金による研究活動・科学研究費補助金等含) のメンバーとして北タイ及び東北タイの伝統音楽のポップス化とグローバル化の中での伝統文化継承の意味などについて調査、共同研究会で報告した。 |                        |             |            |

平成 26 (2014) 年度 教員活動報告書 (3/12)

|                                 |   |
|---------------------------------|---|
| <p>平成二十六年 (2014) 年度の研究活動の概要</p> | <p>(5) 京都文教大学人間学研究所共同研究プロジェクト「地域と結ぶ癒しの技の研究開発」 研究代表者：濱野清志 (臨床心理学部・教授)・馬場雄司 において、倍音声明、気功 (気場)、自然素材による楽器を題材に、自然・音・健康の関わりを、フィールドワーク及び地域住民参加のもとでの竹楽器づくりワークショップ (「竹の音力」) を通じて研究を行った。当プロジェクトのまとめとしてシンポジウム「音と身体がつなぐ癒しの世界 (コミュニティ)」を開催した。</p> <p>(6) 音楽の社会における役割に関する研究。実践人類学実習などに関連させながら、民族楽器の福祉施設での応用を試みたり (竹楽器トガトン、ちんどんセラピー)、地域での東南アジアの音楽の実演紹介を行いながらその有効性を検討した。</p> <p>(7) 地域志向協同研究共同プロジェクト「京都南部・向島地域のニュータウンにおける大学・住民協同のまちづくり研究」 代表：杉本星子 (総合社会学部・教授) 「宇治・伏見地域の観光資源開発と地域振興」 代表：橋本和也 (総合社会学部・教授) 「対人援助のモラルの向上を目指した他職種相互乗り入れ型の研修プログラムの開発に関わる研究」 代表：吉村夕里 (臨床心理学部・教授) のメンバーとして研究をすすめた。</p>  |
| <p>平成二十六年 (2014) 年度の主な研究成果等</p> | <p>(著書)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>『ものぐらしの植物誌-東南アジア大陸部から』、共著、平成26年5月、臨川書店、落合雪野・白川千尋編、「農具と楽器のはざまで」(第2部「植物からモノへ」に収録) pp.207-229</li> <li>『タイを知るための72章【第二版】』、共著、平成26年7月、明石書店、綾部真雄編、「タイ系諸民族」(「エスニックタイ」に所収) pp.218-221</li> </ol> <p>(論文)</p> <p>(学会報告、学会活動)</p> <p>学会報告：</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>Relatedness and Belonging: The Tai Lue Community in Nan, 単独、平成26年4月、12th International Conference on Thai Studies, University of Sydney</li> </ol> <p>学会活動：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日本音楽学会中部支部幹事「平19.4より」</li> <li>パーリ学仏教文化学会理事「平20.4より」</li> </ul> <p>(その他、エッセイ・翻訳・学術講演等)</p> <p>報告：</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>「メコンの歌師の現代的展開と「伝統」へのこだわり」、単独、平成26年10月、国立民族学博物館共同研究会「東南アジアのポピュラーカルチャー アイデンティティー、国家、グローバル化」、国立民族学博物館</li> <li>「デジタル画像情報処理・活用力をもつ博物館生涯学習エデュケーター養成プログラムの構築」(助成研究報告)、単独、平成26年11月、全国大学博物館協議会西日本部会、中部大学</li> </ol> <p>パネリスト等：</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>「文化人類学と医学/医療者教育」とその後」、共同、平成26年11月、日本文化人類学会課題研究懇談会「医療人類学教育の検討」第4回研究会、国立民族学博物館</li> <li>「タイは私をなぜ虜にしたのか? ~もうご飯食べた?」、共同、平成27年2月、日本タイクラブ第5回公開フォーラム、綿業会館</li> <li>「自然素材の民族楽器を使って：竹楽器トガトンとちんどんセラピー」、単独、平成27年2月、京都文教大学人間学研究所シンポジウム「音と身体がつむぐ癒しの世界 (コミュニティ)」、京都文教大学</li> </ol> <p>シンポジウム記録：</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>「レクチャーコンサート&amp;シンポジウム「人と音 音からみえる生活、身体、環境」(監修・解説) 平成27年3月、京都文教大学人間学研究所共同研究プロジェクト「地域と結ぶ癒しの技の研究開発」主催、京都文教大学人間学研究所 人間学研究Vol.15</li> </ol> |

平成 26 (2014) 年度 教員活動報告書 (4/12)

|                        |   |
|------------------------|---|
| 平成二十六(2014)年度の主な研究成果等  | <p>(その他、エッセイ・翻訳・学術講演等 つづき)</p> <p>エッセイ：</p> <p>1. 「竹と稲魂のハーモニー ～タイ北部ルワ族の竹楽器ピ」、短著、『竹』127号、平成27年3月、竹文化振興協会</p> <p>その他：</p> <p>1. 「タイの大衆歌謡観賞会」、単独、平成26年6月、スリヤサンギートワークショップVol.19、船場アートカフェ(辰野ひらのまちギャラリー)</p>  |
|                        | <p>(調査活動)</p> <p>平成26年 8月 タイ(バンコク、チェンマイ、ナーン)(科学研究費補助金課題番号24406037：後述)</p> <p>平成26年12月 タイ(ナーン)(科学研究費補助金課題番号25243005：後述)</p> <p>平成27年 3月 タイ(バンコク、チェンマイ、ナーン)(科学研究費補助金課題番号25243005：後述)</p>  |
|                        | <p>(学外研究資金による研究活動・科学研究費補助金等含)</p> <p>平成24年度-平成26年度<br/>科学研究費補助金(基盤研究B・海外学術調査)「高齢者ケアの質保証を推進する国際比較研究」(課題番号24406037、研究代表者：日本赤十字看護大学・准教授 グライナー智恵子)研究分担者</p> <p>平成25年度-平成27年度<br/>科学研究費助成事業科学研究費補助金(基盤研究A・一般)「東南アジアにおけるケアの社会基盤 つながり に基づく実践の動態に関する研究」(課題番号25243005、研究代表者：京都大学・東南アジア研究所・教授 速水洋子)研究分担者</p> <p>平成25年10月-平成29年3月<br/>国立民族学博物館共同研究「東南アジアのポピュラーカルチャー アイデンティティ、国家、グローバル化」(研究代表者：大阪大学大学院人間科学研究科・准教授 福岡まどか)館外研究員</p>                         |
| 平成二十六(2014)年度の社会における活動 | <p>(学内活動)</p> <p>教務委員会委員、博物館学芸員課程委員会委員長、社会調査士委員会委員長、人間学研究所プロジェクト「地域と結ぶ癒しの技の研究開発」代表者、地域志向協同研究共同プロジェクト(～の各共同研究者)</p> <p>「京都南部・向島地域のニュータウンにおける大学・住民協同のまちづくり研究」(代表：杉本星子)</p> <p>「宇治・伏見地域の観光資源開発と地域振興」(代表：橋本和也)</p> <p>「対人援助のモラルの向上を目指した他職種相互乗り入れ型の研修プログラムの開発に関わる研究」(代表：吉村夕里)</p>  |
|                        | <p>(自治体、行政等 官公庁からの委託事業や委員の囑託)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 宇治市特別職報酬等審議会委員「平21より」</li> </ul> <p>(NPO法人等の団体への参画)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ NPO法人地域国際活動研究センター理事「平13より」</li> <li>・ NPO法人まちづくりねっと・うじ監事「平21より」</li> <li>・ あたたかな御用聞きねっと「たんぼぼ」監事「平22より」</li> </ul> <p>(その他)</p> <p>平成26年 4月 「脱力系まちカレッジ」企画実行(京都文教大学・脱力系まちカレッジ実行委員会) 於：伏見区役所</p> <p>平成26年 6月 1. 「北タイ音楽とビルマの豎琴の夕べ」企画実行・出演、於：京都文教大学サテライトキャンパス宇治橋通り</p> |

平成 26 (2014) 年度 教員活動報告書 (5/12)

|                                       |  |
|---------------------------------------|--|
| <p>平成二十六年(2014)年度の社会における活動</p>        | <p>(その他 つづき)</p> <p>平成26年 6月 2. 「北タイ音楽ワークショップ」、日・タイ・カルチャーフェア、京都市伏見青少年活動センター</p> <p>平成26年 8月 オープンキャンパス「ちんどんタイ」(宣伝活動)及びタイのオート三輪車「トゥクトゥク」によるキャンパスツアーの企画実行(スタッフ学生とともに)、於：京都文教大学</p> <p>平成26年 9月 宇治大道芸大会アジア祭りにワールドミュージックで出演、於：近鉄大久保駅</p> <p>平成26年10月 「タイのこどもの現状」(講演) 於：上賀茂幼稚園</p> <p>平成26年11月 1. 「東南アジアの民族音楽～タイの民族文化と音楽」、平成26年度四日市大学市民講座「音で紡ぐ世界の文化・芸術」講演及び公演、於：四日市大学<br/>2. 「タイとガーナの恋の語り方」「タイ族音楽の夕べ」企画実行・出演、於：京都文教大学及び京都文教大学サテライトキャンパス宇治橋通り<br/>3. 京都文教教養講座 総合社会学部テーマ:「ひびく、つなく、むすぶ」講師、「自然の響き、共鳴する人間～響く音、そしてつなく音～」、於：京都文教大学</p> <p>平成27年 2月 1. 「Love Southeast Asia ～馬場先生とゆかいな仲間たちによる写真展 スペシャルイベント(8日): タイ・マッサージ、ルーシーダットン(タイ式ヨガ)ワークショップ 企画実行、於：京都文教大学サテライトキャンパス宇治橋通り<br/>2. 「竹の音力: 楽器トガトング作りワークショップとカテリーナファミリー・コンサート」(講師: 松本公博ほか) 企画実行(人間学研究所共同研究プロジェクト「地域と結ぶ癒しの技の研究開発」)、於：京都文教大学<br/>3. 「昭和28年大水害写真、向島バリアフリーマップ報告」、京都むすび塾、於：野の百合保育園(京都市伏見区向島)<br/>4. フォーラム「「源氏」的なるものと宇治」企画、於：宇治市源氏物語ミュージアム<br/>5. 「シンポジウム「音・身体がつむぐ癒しの世界(コミュニティ)」企画実行(人間学研究所共同研究プロジェクト「地域と結ぶ癒しの技の研究開発」)、於：京都文教大学</p> <p>平成27年 3月 「サウンドマップ展示会」企画実行、於：京都文教大学サテライトキャンパス宇治橋通り</p>                                |
| <p>平成二十一～二十五(2009～2013)年度の主な研究成果等</p> | <p>(著書)</p> <p>1. 『笑いの世紀』、共著(馬場雄司・八田勘司)、平成21年8月、日本笑い学会編、「笑いのセラピー-「大道芸療法」」(第2章「笑い与健康」に収録) pp.123-131</p> <p>2. 『タイ文化圏の中のラオス 物質文化・言語・民族』、共著、平成21年9月、東京外国語大学アジアアフリカ言語文化研究所、新谷忠彦・クリスチャン・ダニエルズ・園江満編、(第4章「ラオス北部におけるタイ・ルー-サイニャーブリー県における移住史と守護霊儀礼を中心に-」、pp.206-239)</p> <p>3. `Chickens and Humans in Thailand: Their Multiple Relationships and Domestication', 共著、H.R.H.Princess Maha Chakri Sirindhorn &amp; H.I.H. Prince Akishinonomiya Fumihito (Honorary Editors), 平成22年3月、Siam Society, ("The 'Kai Chao Lao' System, the Way of Breeding Chickens in Northern Thai Villages: A Case Study of the Tai-Lue Villages in Nan Province", pp.109-117)</p> <p>4. `Cultural Diversity of the Mekong River: Sharing Experiences from Japan and the Mekong Countries', 共著、平成22年5月、Mekong Sub-region Social Research Center, Faculty of Liberal Arts, Ubon Rachathani University, ("Cultural Diversity in the Area of the Middle Reaches of the Mekong River" pp.25-33)</p> <p>5. 『東アジアにおける宗教文化の再構築』、共著、平成22年12月、風響社、鈴木正崇編、(「農村のポピュラー文化-北タイ、タイ・ルーの守護霊儀礼における芸能の変化」 pp.301-334)</p> |

平成 26 (2014) 年度 教員活動報告書 (6/12)

(著書 つづき)

6. 『海辺のカラオケ・おやじのフォーク』(京都文教大学 文化人類学ブックレット No.7) 単著、平成23年3月、風響社
7. 'Family in Flux in Southeast Asia'、共著、平成24年2月、Silkworm Books, Yoko Hayami, Junko Koizumi, Chalidaporn Songsamphan, and Ratana Tosakul (eds.), ("The 'Making a Strong Family' Program and Its Influences on a Tai-Lue Village in Nan, Thailand", pp.249-273)
8. 『アジアの芸術史 文学上演篇 朝鮮半島、インド、東南アジアの詩と芸能』、共著、平成26年2月、京都造形芸術大学・東北芸術工科大学出版局 芸術学舎、赤松紀彦編、(第15章「タイの芸能：国境を越えて広がるさまざまなカタチ」, pp.182-192)

(論文)

1. 「「出稼ぎが子どもの生育・教育環境に与える影響」をめぐって - 北タイ・ナーン県平地農村、タイ・ルー村落の事例 - 」、単著、平成22年3月、平成19年度～21年度科学研究費補助金 基盤研究(B)(海外学術調査)「東南アジアにおける出稼ぎが子どもの生育・教育環境に与える影響に関する研究」(課題番号19401006、研究代表者：東京学芸大学・教育学部・教授吉野晃) 報告書 (pp.26-38)
2. "Healthcare services for Japanese elderly long-staying in Thailand from the perspective of the patient and healthcare providers: A survey study"、共著、平成23年9月、'Archives of Gerontology and Geriatrics' Vol. 53, Issue 2, (pp.168-173)
3. 「医療・福祉の原点を求めて 「生活」を体験し、「生活」を見直す」(特集：文化人類学と医学/医療者教育) 単著、平成25年10月、医学教育44-5 (pp.200-306)

(学会報告、学会活動)

学会報告：

1. 「福祉をつむぐ音楽ネットワーク」、単独、平成21年5月、分科会「地域SNSから ローカル・ネットワークとローカルコミュニティを再考する」、日本文化人類学会第43回研究大会、大阪国際交流センター
2. 講習会D「音と気をつなぐ「場」づくり」、共同(八田勘司、濱野清志)、平成23年3月、日本音楽療法学会第9回近畿学術大会、京都文教大学
3. Popular Culture in Rural Society: Changes in the Performing Arts in the Guardian Spirit Ritual in Tai-Lue Villages, 単独、平成23年7月、11th International Conference on Thai Studies, Bangkok
4. 「北タイ、ナーン県、ルワの竹楽器ピをめぐって - 農具と楽器のはざままで」、単独、平成24年12月、日本音楽学会中部支部例会
5. 「北タイ、ナーン県、ルワの竹楽器ピをめぐって 農具と楽器のはざままで」、単独、平成26年2月、東洋音楽学会西日本支部例会、京都教育大学

学術シンポジウム報告：

1. Keynote Speech: Cultural Diversity in the Area of the Middle Reaches of the Mekong River, 単独、平成21年11月、International Seminar on "Cultural Diversity of the Mekong River: Sharing Experiences from Japan and the Mekong Countries", Mekong Sub-region Social Research Center [MSSRC], Faculty of Liberal Arts, ウボンラーチャターニー大学(タイ国)
2. "Indigenous People" and "Hill tribes" in the Tai World, 単独、平成22年2月、J.S.P.S, Asian CORE Program, Asian Connections: Southeast Asian Model for Co-Existence in the 21st Century, 1st International workshop, Writing Radically Different Southeast Asia: from Non-State-Centered Perspective, Kyoto University
3. 「福祉をつむぐ音楽ネットワーク」、単独、平成22年2月、国立民族学博物館共同研究会「地域SNS(ソーシャル・ネットワーク・サービス)を活用した新しい地域コミュニティの構築に関する研究」、国立民族博物館

平成 26 (2014) 年度 教員活動報告書 (7/12)

(学会報告、学会活動 つづき)

4. タイ国家の中における北部山地民の位置づけの変遷：山地民とタイ政府の関係史(Kwanchewan Buadaen氏の報告)に対するコメント、平成22年10月、南山大学人類学博物館オープン・リサーチ・センター人類学部会シンポジウム「タイ北部山地民の過去・現在・未来」、南山大学

学会活動：

- 平成11年 4月 日本タイ学会理事「平25.3まで」  
 平成19年 4月 日本音楽学会中部支部幹事「現在に至る」  
 平成20年 4月 パーリ学仏教文化学会理事「現在に至る」  
 平成22年 6月 第9回日本音楽療法学会近畿学術大会実行委員  
 平成23年 7月 日本タイ学会第13回大会プログラム委員  
 平成24年 6月 東南アジア学会第87回研究大会・大会準備委員長、於：京都文教大学普照館

博士論文審査委員：

- 平成23年 1月 総合研究大学院大学文化科学研究科博士論文審査委員

(その他、エッセイ・翻訳・学術講演等)

書評：

1. 「片岡樹著『タイ山地—神教の民族誌 キリスト教ラフの国家・民族・文化』」、単著、平成22年6月、文化人類学研究75巻1号(pp.168-171)  
 2. “Andrew Walker “Tai Lands and Thailand: Community and State in Southeast Asia”、単著、平成25年4月、Southeast Asian Studies 2-1 (pp.199-203)

学術講演：

1. 「コミュニティづくりとアイデンティティの行方 北タイ、タイ・ルーの事例」、単独、平成21年11月、東南アジア社会と文化研究会、京都大学  
 2. 「音の力 竹楽器トガトン・ちんどんセラピー・音と気をつなぐ場づくり」、単独、平成23年1月、第6回プロジェクト『いのち』研究会、キャンパスプラザ京都  
 3. 「タイは私をなぜ虜にしたのか?」、共同、平成23年2月、日本タイクラブ創立20周年公開フォーラム、綿業会館  
 4. 「北タイ、ナーン県、ルワの竹楽器ピをめぐる」、単独、平成23年6月、国立民族学博物館共同研究会「プラントマテリアルの価値付けと関係性」、高知県立牧野植物園  
 5. 「竹と稲魂のハーモニー - 北タイ、ルワ族の竹楽器「ピ」」、単独、平成25年2月、スリヤサンギートワークショップVol.4、船場アートカフェ(辰野ひらのまちギャラリー)  
 6. 「メコンの歌師たち かけあい歌の世界」、単独、平成25年4月、スリヤサンギートワークショップVol.6、船場アートカフェ(辰野ひらのまちギャラリー)  
 7. 「北タイの祭りと音楽」、単独、平成25年7月、スリヤサンギートワークショップVol.8、船場アートカフェ(辰野ひらのまちギャラリー)  
 8. 「続・竹と稲魂のハーモニー - タイ北部からラオス北部の竹楽器」、単独、平成25年12月、スリヤサンギートワークショップVol.13、船場アートカフェ(辰野ひらのまちギャラリー)

記録フィルム(DVD)：

1. Phithi Bwongswong Winyan Chao Luang Muang La (チャオルアン・ムアンラーの儀礼)、共同制作、平成21年8月、Project of Networking Ethnic Communities in Video Production for Cultural Preservation and Promotion, supported by Toyoda Foundation, Social Research Institute, Chiang Mai University

報告書：

1. 『大分の自然の恵みに育まれ ~ ああ素晴らしきBAMBOO WEEK』(平成21年度大分フィールドワーク実習報告書) 編集、平成22年3月、京都文教大学文化人類学科  
 2. 『たけのおと 大分山香の生活と自然の恵み』(平成22年度大分フィールドワーク実習報告書) 平成23年3月、京都文教大学文化人類学科

平成 26 (2014) 年度 教員活動報告書 (8/12)

(その他、エッセイ・翻訳・学術講演等 つづき)

3. 『ばばば ばんど No Bamboo, No Music, No Life』(平成23年度実践人類学実習報告書) 平成24年3月、京都文教大学文化人類学科
4. 『森の音、街の音、私の音 音から始まる愉快的な物語』(平成24年度実践人類学実習報告書) 平成25年3月、京都文教大学文化人類学科
5. 『ばわあおぶさうんど』(平成25年度実践人類学実習報告書) 平成26年3月、京都文教大学文化人類学科

(調査活動)

- |                     |  |
|---------------------|--|
| 平成21年 4月-平成22年 3月   | 京都府宇治市、三重県熊野市、和歌山県田辺市本宮町<br>「福祉に生かす代替療法」(京都文教大学人間学研究所共同研究プロジェクト研究費)              |
| 平成21年 5月-平成22年 3月   | 大分県杵築市、京都府宇治市<br>「音楽の福祉における役割(民族楽器を用いた実践)」(京都文教大学個人研究費)                          |
| 平成21年 8月-9月         | タイ・ナーン県<br>「東南アジア農村における家族の変化」(科学研究費補助金 課題番号19401006:後述)                          |
| 平成21年 8月-平成22年 3月   | 京都府宇治市・京都市伏見区<br>「福祉を紡ぐ音楽ネットワーク」(京都文教大学個人研究費)                                    |
| 平成22年 4月-平成23年 3月   | 大分県杵築市、京都府宇治市<br>「福祉に生かす代替療法」(京都文教大学人間学研究所共同研究プロジェクト研究費)                         |
| 平成22年 4月-平成23年 3月   | 京都府宇治市<br>「音楽の福祉における役割(民族楽器を用いた実践)」(京都文教大学個人研究費)                                 |
| 平成22年 4月-平成23年 3月   | 京都府宇治市・京都市伏見区<br>「福祉を紡ぐ音楽ネットワーク」(京都文教大学個人研究費)                                    |
| 平成22年 8月- 9月        | タイ・ナーン県、ラオス・サイニャブリー県<br>「タイ及びラオスにおける伝統的竹製品の伝承について 竹楽器を中心に」(京都文教大学海外出張助成金、同個人研究費) |
| 平成23年 4月-平成24年 3月   | 大分県杵築市、京都府宇治市<br>「福祉に生かす代替療法」(京都文教大学人間学研究所共同研究プロジェクト研究費)                         |
| 平成23年 4月-平成24年 3月   | 京都府宇治市<br>「音楽の福祉における役割(民族楽器を用いた実践)」(京都文教大学個人研究費)                                 |
| 平成24年 4月-平成25年 3月   | 大分県杵築市、神奈川県湯河原町、京都府京都市及び宇治市<br>「地域と結ぶ癒しの技の研究開発」(京都文教大学人間学研究所共同研究プロジェクト研究費)       |
| 平成24年 4月-平成24年 3月   | 京都府宇治市<br>「音楽の福祉における役割(民族楽器を用いた実践)」(京都文教大学個人研究費)                                 |
| 平成24年8月- 9月・平成25年3月 | タイ(バンコク、チェンマイ、ナーン)<br>(科学研究費補助金課題番号24406037:後述)                                  |
| 平成25年 4月-平成26年 3月   | 京都府宇治市<br>「音楽の福祉における役割(民族楽器を用いた実践)」(京都文教大学個人研究費)                                 |



平成 26 (2014) 年度 教員活動報告書 (9/12)

(調査活動 つづき)

平成25年 8月- 9月 タイ(バンコク、チェンマイ、ナーン)  
(科学研究費補助金課題番号25243005:後述)

平成26年 3月 タイ(バンコク・チェンマイ)  
(科学研究費補助金課題番号24406037:後述)

(学外研究資金による研究活動・科学研究費補助金等含)

平成15年 4月 HCMR秋篠宮研究プロジェクト・家禽資源研究会「人と鶏の多面的関係」(研究代表者:日本学生支援機構参与 赤木修)研究分担者「平22.3まで」

平成17年10月 日本学術振興会・タイ国学術審議会拠点大学プロジェクト「変貌する東南アジアの家族」(研究代表者:京都大学・東南アジア研究所・教授 速水洋子、京都大学・東南アジア研究所教授 小泉順子)研究分担者「平22.3まで」

平成19年度-平成21年度  
科学研究費補助金(基盤研究B・海外学術)「東南アジアにおける出稼ぎが農村の子どもの生育・教育環境に与える影響に関する研究」(課題番号19401006, 研究代表者:東京学芸大学・教育学部・教授 吉野晃)研究分担者

平成21年10月-平成25年3月  
国立民族学博物館共同研究「プラント・マテリアルをめぐる価値づけと関係性」(研究代表者:鹿児島大学・総合研究博物館・准教授 落合雪野)館外研究員

平成24年度-(3年間)  
科学研究費補助金(基盤研究B・海外学術調査)「高齢者ケアの質保証を推進する国際比較研究」(課題番号24406037、研究代表者:日本赤十字看護大学・准教授 グライナー智恵子)研究分担者

平成25年度-(3年間)  
科学研究費助成事業科学研究費補助金(基盤研究A・一般)「東南アジアにおけるケアの社会基盤 つながり に基づく実践の動態に関する研究」(課題番号25243005、研究代表者:京都大学・東南アジア研究所・教授 速水洋子)研究分担者

平成25年10月-平成29年3月  
国立民族学博物館共同研究「東南アジアのポピュラーカルチャー アイデンティティ、国家、グローバル化」(研究代表者:大阪大学大学院人間科学研究科・准教授 福岡まどか)館外研究員

(学内活動)

平成19年 4月 博物館学芸員課程委員会委員(平20.4-平23.3、平25.4-平27.3委員長)「現在に至る」

平成21年 4月 予算委員会委員(平22.4より委員長)「平24.3まで」  
人間学研究所共同研究プロジェクト「福祉に生かす代替療法」プロジェクト代表者「平24.3まで」

平成22年 4月 入試実行委員会委員「平24.3まで」  
FD委員会委員「平25.3まで」

平成22年10月 研究成果刊行助成委員会委員「平23.3まで」

平成23年 4月 フィールドワーク実習委員(平24.4-平25.3 委員長)「平25.3まで」  
社会調査士委員会委員長「現在に至る」

平成24年 4月 人権委員会委員「平25.3まで」  
人間学研究所プロジェクト「地域と結ぶ癒しの技の研究開発」代表者「現在に至る」

平成25年 4月 教職課程委員会委員「平26.3まで」  
人間学研究所プロジェクト「地域人材育成のためのプログラム構築と制度整備支援にむけた学際的研究」メンバー「平26.3まで」

平成二十一〜二十五(2009〜2013)年度の主な研究成果等

平成 26 ( 2014 ) 年度 教員活動報告書 ( 10/12 )

( 自治体、行政等 官公庁からの委託事業や委員の囑託 )

平成21年度 宇治市特別職報酬等審議会委員「現在に至る」

( NPO法人等の団体への参画 )

平成13年度 NPO法人地域国際活動研究センター理事「現在に至る」

平成21年度 NPO法人まちづくりねっと・うじ監事「現在に至る」

平成22年度 あたたかな御用聞きねっと「たんぼぼ」監事「現在に至る」

( 小中高との連携授業の講師 )

平成21年 7月 ALPプログラムにて授業、於：京都文教高等学校

平成23年12月 「文理探求セミナー」講師、「東南アジアの文化を感じよう、そして東南アジアと日本の関係について考えよう」於：京都府立東宇治高等学校

平成24年11月 京都府立東宇治高等学校「文理探求セミナー」、「タイの文化を感じよう、そしてタイと日本の関係について考えよう」於：同校

平成25年10月 滋賀県立伊香高等学校 ( 京都文教大学見学 ) 「音楽は世界をつなぎ、心を癒す」於：京都文教大学指月ホール

( 自治体や企業における研修等の講師 )

平成21年 7月 宇治田原市教育委員会・宇治田原町高齢者地域セミナー「ことぶき大学7月講座」  
「笑い与健康」於：宇治田原町総合文化センター

( その他 )

平成19年度 京都山城地域での民族楽器演奏活動 ( 京都文教大サテライトキャンパス、宇治市生涯学習センター、宇治橋通商店街フェスタ、城陽市くぬぎ村梅祭り、など市民活動の場にて多数 ) 「以降毎年度」

平成20年度 福祉現場での音楽療法的活動「以降毎年度」

ちんどんタイ：宇治市・京都市伏見区を中心とした福祉施設、高齢者の交流の場  
竹楽器トガトン演奏：特別養護老人ホーム「さわらび園」、介護老人保健施設  
「第二京しみず」などの福祉施設

気功と音楽：介護老人保健施設「第二京しみず」

平成21年 6月 「タイ音楽・舞踊ワークショップ」「タイ音楽と舞踊の集い」企画実行・出演、  
於：京都文教大学及びサテライトキャンパス宇治橋通り

平成21年 7月 1. 「自然を音にかえる」(カテリーナ・ファミリーコンサート) 企画実行、於：京都文教大学  
2. 京都文教大学人間学研究所 耳学問榎島亭vol.8「ギター少年がアジアの大地で聴いた音」於：京都文教大学

平成21年 9月 タイ音楽グループ、スリヤサンギートのメンバーとして堺市アセアンフェスティバルにて演奏

平成21年10月 1. 京都文教公開講座「死からみた生の輝き」第6回講師、「東南アジアの老いと死  
タイ北部の農村から」於：京都文教大学

2. 講演「老年期のスピリチュアルケア 介護職を支える認知症高齢者」(青木信雄・現美山診療所勤務・元龍谷大学教授) のコメンテーター、於：京都文教大学

平成22年 6月 「タイ音楽・舞踊ワークショップ」「タイ音楽と舞踊の集い」企画実行・出演、  
於：京都文教大学及びサテライトキャンパス宇治橋通り

平成22年 7月 「自然を音にかえる」(カテリーナ・ファミリーコンサート) 企画実行、於：京都文教大学

平成22年 8月 入試実行委員会委員としてオープンキャンパスを担当し、スタッフ学生とともに  
「ちんどんタイ」( 宣伝活動 ) 及びタイのオート三輪車「トゥクトゥク」によるキャンパスツアーを企画実行

平成 26 ( 2014 ) 年度 教員活動報告書 ( 11/12 )

平成二十一～二十五 (2009～2013) 年度の社会における活動

(その他 つづき)

- 平成22年11月 京都文教公開講座「第二の人生を生きる」第6回講師、「海辺のカラオケ・「おやじ」のフォーク」於：京都文教大学
- 平成22年12月 第二回アジア・アフリカとびっきり映画祭トークセッション司会、於：宇治市生涯学習センター
- 平成23年 2月
1. 文化コーディネータープログラム最終報告会・総合司会、於：京都文教大学
  2. マンスリー・アートカフェ、「タイ農村の芸能大会 ～キティちゃんからテニスルックのばあさんまで」於：船場アートカフェ
  3. 第二京しみず10周年記念イベント(講演)「笑い与健康」於：介護老人保健施設第二京しみず
- 平成23年 3月
1. 「竹の音力」(竹楽器づくりワークショップ)企画実行(人間学研究所プロジェクト「福祉に生かす代替療法」プロジェクト) 於：京都文教大学
  2. オープンキャンパス模擬授業「音楽・芸能からみるアジアの中の日本」
- 平成23年 5月 「脱力系フェスタ」(京都文教大学「障害と病いの祭典」実行委員会主催)に、学生4名とともに「ちんどんタイ」(ストリートパフォーマンス)で参加
- 平成23年 6月
1. 「タイ音楽・舞踊ワークショップ」「タイ音楽と舞踊の集い」企画実行・出演、於：京都文教大学及びサテライトキャンパス宇治橋通り
  2. 第1回キャリアプログラム講師として、京都文教高校にて模擬授業を行う(「音楽は世界をつなぎ、心を癒す」)
- 平成23年 8月 入試実行委員会委員としてオープンキャンパスを担当し、スタッフ学生とともに「ちんどんタイ」(宣伝活動)及びタイのオート三輪車「トゥクトゥク」によるキャンパスツアーを企画実行
- 平成23年 9月 オープンキャンパスにて、模擬授業を行う(「音楽・芸能からみるアジアの中の日本」)
- 平成23年10月 シンポジウム「ごみ屋敷の住人たち」(人権委員会主催)にコメンテーターとして参加、於：京都文教大学
- 平成23年11月 「野口整体入門」企画実行(人間学研究所プロジェクト「福祉に生かす代替療法」プロジェクト) 於：貴船右源太
- 平成24年 1月 「ラオス音楽と北タイ音楽の夕べ～メコンの響き」企画実行・出演、於：京都文教大学サテライトキャンパス宇治橋通り
- 平成24年 2月 「竹の音力」(竹楽器づくりワークショップ)企画実行(人間学研究所プロジェクト「福祉に生かす代替療法」プロジェクト) 於：京都文教大学
- 平成24年 4月 「倍音声明」(講師：吉福伸一)企画実行(人間学研究所プロジェクト「地域と結ぶ癒しの技の研究開発」プロジェクト) 於：貴船右源太
- 平成24年 5月 「気功教室」(講師：中健次郎)企画実行(人間学研究所プロジェクト「地域と結ぶ癒しの技の研究開発」プロジェクト) 於：京都文教大学
- 平成24年 6月 「タイ音楽・舞踊ワークショップ」「タイ音楽と舞踊の集い」企画実行・出演、於：京都文教大学及びサテライトキャンパス宇治橋通り
- 平成24年 8月 オープンキャンパス「ちんどんタイ」(宣伝活動)及びタイのオート三輪車「トゥクトゥク」によるキャンパスツアーの企画実行(スタッフ学生とともに)
- 平成24年12月 「ジャワ舞踊と北タイ音楽の夕べ」企画実行・出演、於：京都文教大学サテライトキャンパス宇治橋通り
- 平成25年 2月
1. 「タイ・フィールドワーク写真展(スペシャルイベント(17日):タイ・マッサージ、ルーシーダットン(タイ式ヨガ)ワークショップ) 於：京都文教大学サテライトキャンパス宇治橋通り
  2. 「ようこそさわらび園ミュージアムホールへ」(土屋コレクションを利用した昔の音楽教科書の展示) 於：特別養護老人ホームさわらび園

平成 26 (2014) 年度 教員活動報告書 (12/12)

平成二十一～二十五 (2009～2013) 年度の社会における活動

(その他 つづき)

- 平成25年 3月 「かてりいな森から生まれる木(古)楽器展。」(講師：松本公博ほか)企画実行(人間学研究所プロジェクト「地域と結ぶ癒しの技の研究開発」プロジェクト) 於：京都文教大学
- 平成25年 5月 「脱力系まちカレッジ」企画実行(京都文教大学・脱力系まちカレッジ実行委員会) 於：大手筋・納屋町商店街、伏見区役所
- 平成25年 6月 「タイ音楽・舞踊ワークショップ」「タイ音楽と舞踊の集い」企画実行・出演、 於：京都文教大学及びサテライトキャンパス宇治橋通り
- 平成25年 7月 「野口整体入門」企画実行(人間学研究所プロジェクト「地域と結ぶ癒しの技の研究開発」プロジェクト) 於：山住神社
- 平成25年 8月 オープンキャンパス「ちんどんタイ」(宣伝活動)及びタイのオート三輪車「トゥクトゥク」によるキャンパスツアーの企画実行(スタッフ学生とともに)
- 平成25年12月 1. 「ベリーダンスと北タイ音楽の夕べ」企画実行・出演、 於：京都文教大学サテライトキャンパス宇治橋通り  
2. 「第5回アジア・アフリカとびっくり映画祭」に、地域NPO職員、卒業生、在学生とともに「ちんどんタイ」で参加
- 平成26年 1月 「タイ・フィールドワーク写真展(スペシャルイベント(12日):タイ・マッサージ、ルーシーダットン(タイ式ヨガ)ワークショップ)企画実行、 於：京都文教大学サテライトキャンパス宇治橋通り
- 平成26年 2月 1. 「竹楽器トガトづくりワークショップ」(講師：松本公博ほか)企画実行(人間学研究所プロジェクト「地域と結ぶ癒しの技の研究開発」プロジェクト) 於：京都文教大学  
2. 「音の力：レクチャーコンサート「昔の音世界」・シンポジウム「人と音 音からみえる生活・身体・環境」(カテリーナ古楽器研究所ほか)企画実行(人間学研究所「地域と結ぶ癒しの技の研究開発」プロジェクト) 於：ウイングス京都